

業務用冷蔵庫の着霜防止ユニット

マックがOEM供給

来月、三菱重工空調向け

独自技術 他社へライセンス供与も

【千葉】マック(千葉県東金市、松下紘見社長、0475・50・1881)は10月から、三菱重工空調システム(東京都品川区)に、業務用冷凍冷蔵庫の着霜を防ぐ冷却ユニットのOEM(相手先ブランド)供給を始める。外部熱源を用いず配管構造の見直しで除霜する独自技術。三菱重工空調は、同ユニットを自社製品に搭載することで着霜問題を解消、商品力の向上につなげる。

マックがOEM供給するのは、圧縮機でつくられた高温高圧のホットガスを利用して、着霜を防ぐ新冷却ユニット。既存配管部分に切り替え電磁弁と膨張弁を取り付け、ユニット本体へつながるホットガスを新設、除霜する。冷却のための凝縮、蒸発作用が維持されるほか、既存の冷凍冷蔵庫への後付けも可能。

きつつけ、電気ヒーターなどで除霜してきたが、どれも抜本的な解決策とはならず、着霜は業務用冷蔵庫業界の長年の懸案事項となっていた。

マックは8月に同技術で特許を取得したことからユニット販売を本格化。三菱重工空調と同商

品で初のOEM契約を交わした。すでに自社製品の蓄冷材で同技術を採用しているが、冷凍冷蔵庫向けで初の量産出荷となる。年間取引額は10億円程度に達する見通し。

今後、他メーカーへの供給も視野に入れるほか、ライセンス供与も検討する。製品本体価格は現行製品に比べ20万~30

万円の割高になるものの、ユーザーは完全除霜のメリットが得られる。同製

品の取引拡大などに伴って、年間250億円とされる業務用冷凍冷蔵庫業界で、攻勢をかける。

印刷機事業

日本で年6%成長目指す

米コダックCOCOが戦略表明

米イーストマン・コダックは21日、今後の日本での印刷機材販売にたいして、年6%成長を目指すことを発表した。グラフィック・コミュニケーション・グループ(GCG)のジェフ・シェイユブソン最高執行責任者(COO)が都内で記者会見し、印刷事業戦略を説明した。

05年のGCGの世界事業規模は35億円で、日本市場はその10%を見込んでいる。シェイユブソンCOCOは、今後「年3%成長と予測される印刷市場の、2倍の成長率を目標に事業を拡大する」(同)とした。そのため

「CTP(プレート)やフィルムなどの消耗品販売、ウェブ上で色合わせなどができるリモート・プリンクなどのワークフローやソリューション・ビジネスに力を入れる」(同)計画。

0台の販売を目指す。発売するのは同社のモジュール型表面実装機の最高機種種「YG200」のバリエーションモデル。高速化に加え、大型基板に対応できるように8μm換算でテープフィ

ード搭載能力を80本から96本に増やした。「0402」と呼ばれる極小チップにも対応可能。搭載精度は約50μm。通信用機能を高めただけでなく、中国語などにも対応できるようにした。

「ダイナミック能力を80本から96本に増やした。」「0402」と呼ばれる極小チップにも対応可能。搭載精度は約50μm。通信用機能を高めただけでなく、中国語などにも対応できるようにした。

「ダイナミック能力を80本から96本に増やした。」「0402」と呼ばれる極小チップにも対応可能。搭載精度は約50μm。通信用機能を高めただけでなく、中国語などにも対応できるようにした。

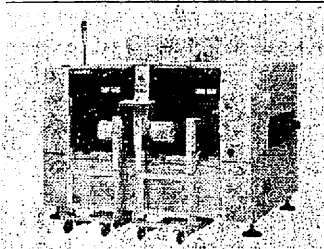
アスベスト密封処理



ムラコシ(静岡県袋井市、村越弘代表取締役、0538・233・7221)は、アスベスト専用集塵機(写真)を10月中旬に発

専用集塵機

フィルタを兼ねる専用の使い捨て集じん袋を採用した。集じん袋の上部側面に直径15mmの細長い吸引口があり、満杯になると吸引口をたたんで結束し、アスベストの漏れを防ぐ。集じん袋は綿製。集じん袋の交換時は装置内を減圧する



下部に気球を膨らませ放熱するファンやブロー

気球型レンタル

「CTP(プレート)やフィルムなどの消耗品販売、ウェブ上で色合わせなどができるリモート・プリンクなどのワークフローやソリューション・ビジネスに力を入れる」(同)計画。

起き上がる照明

「CTP(プレート)やフィルムなどの消耗品販売、ウェブ上で色合わせなどができるリモート・プリンクなどのワークフローやソリューション・ビジネスに力を入れる」(同)計画。